

水はけの悪い採草地にはフェストロリウムを追播しよう

【1 成果の概要】

- 水はけが悪く収量が低下した採草地にはフェストロリウムを追播すると収量が回復します。
- 作溝式播種機や播種機付きディスクハロを使って追播します。手順は図1のとおりです。
- 播種量は6kg/10aが基本ですが、裸地が多いところでは3kg/10aでも十分効果があります。
- 熟した堆肥を3-5t/10a散布すると、より効果的です。



写真1 採草地にこんなところありませんか？

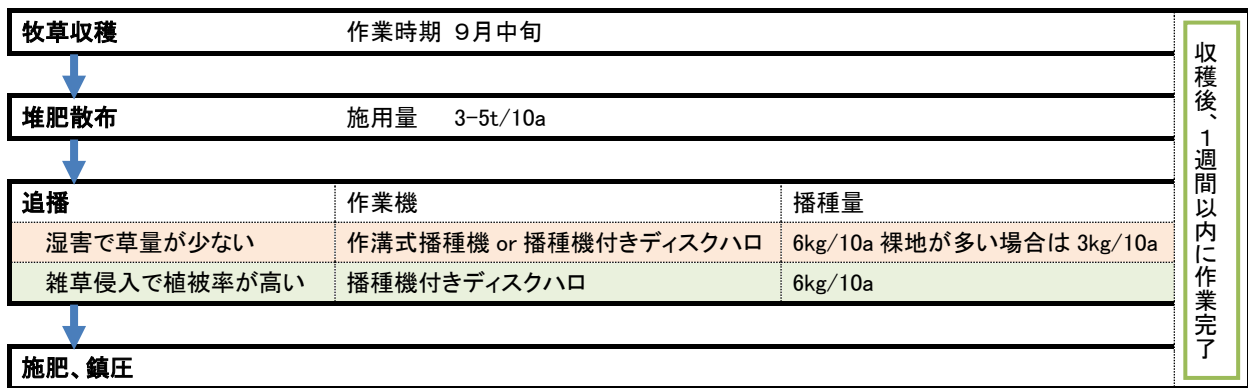


図1 フェストロリウム追播手順

【2 効果】

- (1) 追播すると、翌年の1番草収量が3kg/10aで69%、6kg/10aで85%まで回復します(図2)。
- (2) 追播時に堆肥施用すると、2年間で約300kg/10aの増収が期待できます(図3)。

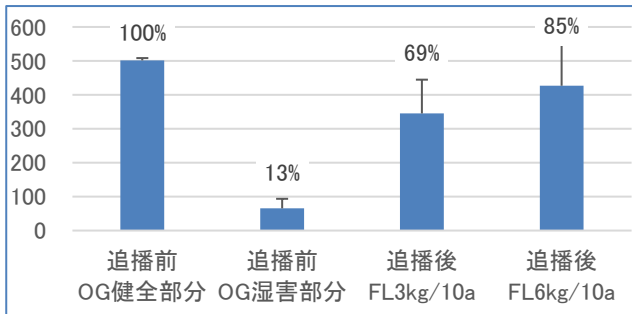


図2 追播前と追播翌年の1番草乾物収量 (kg/10a)

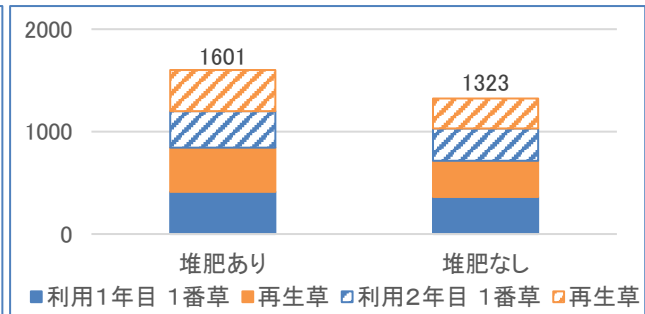


図3 堆肥散布の有無別2か年の牧草収量 (kg/10a)

【3 留意事項】

- (1) 利用3年目以降はフェストロリウムの収量が低下するので、再追播や草地更新をしましょう。
- (2) 地下茎植物が非常に多い場合は、追播ではなく、除草剤を使って草地を更新しましょう。

【4 適応対象】

フェストロリウム栽培適地帯(年平均気温が9~13℃程度、または連続積雪期間が概ね90日以下)

※本研究は農研機構生研支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)」「気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発」の支援を受けて実施しました

担当研究室 畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
〒020-0605 岩手県滝沢市砂込 737-1

TEL. 019-688-7317 FAX. 019-688-4327